

# えびの

## 市議会だより

2018  
第116号

平成30年4月20日

平成30年度 えびの市一般会計当初予算は  
137億3,700万円

常任委員会での審査内容  
特別委員会での審査内容  
一般質問(登壇12名)  
各視察・研修等の報告

6月定例会は  
6月8日  
開会予定

# 平成30年1月臨時会 議案審議結果表

## 1. 議案等

会期：平成30年1月30日（1日間）

番 号	件 名	付託委員会	審議結果
議案第 1号	公の施設の指定管理者の指定について	—	原案可決
議案第 2号	平成29年度えびの市一般会計予算の補正(第9号)について	—	原案可決

# 平成30年3月定例会 議案審議結果表

## 1. 議案等

会期：平成30年2月27日～3月20日（22日間）

番 号	件 名	付託委員会	審議結果
諮問第 1号	人権擁護委員候補者の推薦について	—	別段異議はない
議案第 3号	公平委員会委員の選任について	—	同 意
議案第 4号	教育委員会委員の任命について	—	同 意
議案第 5号	えびの市一般職の職員の給与に関する条例の一部改正について	—	原案可決
議案第 6号	えびの市特別職の職員で常勤のものの給与及び旅費に関する条例及びえびの市議会議員の議員報酬、費用弁償及び期末手当に関する条例の一部改正について	—	原案可決
議案第 7号	えびの市企業職員の給与の種類及び基準に関する条例の一部改正について	—	原案可決
議案第 8号	えびの市障がい者計画の策定について	産 業 厚 生	原案可決
議案第 9号	第二次えびの市環境基本計画の策定について	産 業 厚 生	原案可決
議案第10号	えびの市水道事業経営戦略の策定について	総 務 教 育	原案可決 (13:1)
議案第11号	えびの市におけるあらゆる差別をなくし人権を守る条例の制定について	総 務 教 育	原案可決
議案第12号	えびの市ところをつなぐ手話言語条例の制定について	産 業 厚 生	原案可決
議案第13号	えびの市産業団地整備事業特別会計条例の制定について	産 業 厚 生	原案可決 (8:6)
議案第14号	えびの市京町温泉駅観光交流センター条例の制定について	産 業 厚 生	原案可決
議案第15号	えびの市一般職の職員の退職手当に関する条例の一部を改正する条例等の一部改正について	総 務 教 育	原案可決
議案第16号	えびの市特定教育・保育施設及び特定地域型保育事業の運営に関する基準を定める条例の一部改正について	産 業 厚 生	原案可決
議案第17号	えびの市在宅老人等介護手当支給条例の一部改正について	産 業 厚 生	原案可決
議案第18号	えびの市国民健康保険条例の一部改正について	産 業 厚 生	原案可決 (13:1)
議案第19号	えびの市介護保険条例の一部改正について	産 業 厚 生	原案可決 (13:1)
議案第20号	えびの市後期高齢者医療に関する条例の一部改正について	産 業 厚 生	原案可決

議案第21号	えびの市営住宅条例及びえびの市小集落改良住宅条例の一部改正について	総務教育	原案可決
議案第22号	えびの市立学校条例の一部改正について	総務教育	原案可決
議案第23号	市道の路線廃止について	産業厚生	原案可決
議案第24号	市道の路線認定について	産業厚生	原案可決
議案第25号	平成29年度えびの市一般会計予算の補正(第10号)について	—	原案可決
議案第26号	平成29年度えびの市国民健康保険特別会計予算の補正(第4号)について	—	原案可決
議案第27号	平成29年度えびの市後期高齢者医療特別会計予算の補正(第2号)について	—	原案可決
議案第28号	平成29年度えびの市介護保険特別会計予算の補正(第4号)について	—	原案可決
議案第29号	平成29年度えびの市水道事業会計予算の補正(第2号)について	—	原案可決
議案第30号	平成29年度えびの市病院事業会計予算の補正(第3号)について	—	原案可決
議案第31号	平成29年度えびの市一般会計予算の補正(第11号)について	平成29年度予算 審査特別委員会	原案可決
議案第32号	平成29年度えびの市国民健康保険特別会計予算の補正(第5号)について	産業厚生	原案可決
議案第33号	平成29年度えびの市後期高齢者医療特別会計予算の補正(第3号)について	産業厚生	原案可決
議案第34号	平成29年度えびの市介護保険特別会計予算の補正(第5号)について	産業厚生	原案可決
議案第35号	平成29年度えびの市水道事業会計予算の補正(第3号)について	総務教育	原案可決
議案第36号	平成29年度えびの市病院事業会計予算の補正(第4号)について	総務教育	原案可決
議案第37号	平成30年度えびの市一般会計予算について	平成30年度予算 審査特別委員会	原案可決 (13:1)
議案第38号	平成30年度えびの市国民健康保険特別会計予算について	産業厚生	原案可決 (13:1)
議案第39号	平成30年度えびの市後期高齢者医療特別会計予算について	産業厚生	原案可決 (13:1)
議案第40号	平成30年度えびの市介護保険特別会計予算について	産業厚生	原案可決 (13:1)
議案第41号	平成30年度えびの市産業団地整備事業特別会計予算について	産業厚生	原案可決 (8:6)
議案第42号	平成30年度えびの市水道事業会計予算について	総務教育	原案可決
議案第43号	平成30年度えびの市病院事業会計予算について	総務教育	原案可決

## 2. 請願・陳情

番号	件名	付託委員会	審議結果
陳情第1号	湯田・西郷地区における産業団地整備の早期実施について	産業厚生	採択 (8:6)

## 平成30年 1月臨時会

平成30年1月臨時会を1月30日の1日間開催し、議案2件を審議しました。審議の結果は次のとおりです。

### 指定関係

**議案第1号** 公の施設の指定管理者の指定について

えびの市アウトドアビクターセンターの施設の管理について、指定管理者を指定するためのものです。施設名…えびの市アウトドアビクターセンター

指定管理者…団体の名称

株式会社 アイロード・プラス

指定期間…平成30年3月1日から平成32年3月31日まで

### 予算関係

**議案第2号** 平成29年度えびの市一般会計予算の補正(第9号)について

歳入歳出それぞれ611万2千円追加し、補正後の予算総額は144億9,622万3千円です。

主なものは、活動火山周辺地域防災営農対策事業の実施に伴うものです。

## 平成30年 3月定例会に 提出された議案

平成30年3月定例会は2月27日から3月20日までの22日間開催し、諮問1件・議案41件・陳情1件について審議しました。主な審議結果は次項のとおりです。

### 策定の議案

**議案第10号** えびの市水道事業経営戦略の策定について

「安全でおいしい水の安定的な供給の確保」の実現のため、経営の基本計画として平成30年度から平成39年度までを計画期間とする「えびの市水道事業経営戦略」を策定するものです。

(※詳しくはP5総務教育常任委員会報告を参照下さい。)

### 条例の議案

**議案第12号** えびの市こころをつなぐ手話言語条例の制定について

手話が言語であるという認識に基づき、手話に対する理解の促進及び手話を使用しやすい環境の構築に関し、すべての市民が共生することのできる地域社会を実現するため制定するものです。

**議案第14号** えびの市京町温泉駅観光交流センター条例の制定について

地域のにぎわいを創出するとともに観光の推進及び交流人口の拡大を図るために制定するものです。(※詳しくはP6産業厚生常任委員会報告を参照下さい。)

### 予算の関係

**議案第31号** 平成29年度えびの市一般会計予算の補正(第11号)について

歳入歳出それぞれ2億6,187万減額し、補正後の予算総額は142億4,461万6千円となります。

主なものは、

道の駅物産販売所増築費

2,203万9千円

小学校施設維持補修費

1,855万4千円

中学校施設維持補修費

1億629万円

などです。

(※詳しくはP8予算審査特別委員会報告を参照下さい。)

**議案第37号** 平成30年度えびの市一般会計予算について

歳入歳出それぞれ137億3,700万円です。

主なものは、

防災食育センター建設事業費

8億755万円

都市計画道路事業費

4億8,330万円

主な事業のうち新規事業として

3億1,305万円

吉都線観光列車ツアー事業

133万円

などとなっています。

(※詳しくはP8～9予算審査特別委員会報告を参照下さい。)

### 特別会計予算

**議案第41号** 平成30年度えびの市産業団地整備事業特別会計予算について

歳入歳出それぞれ9,850万円です。

主なものは、

実施設計委託料

9,301万4千円

建物等調査委託料

441万円

地権者等権利調査委託料

51万9千円

です。

(※詳しくはP6～7産業厚生常任委員会報告を参照下さい。)

### 人事案件

人権擁護委員

委員 拵 豊 信氏

委員 向 原 雄 二氏

委員 栗 坂 三枝子氏

委員 成 光 眞里子氏

公平委員会委員

委員 園 田 毅氏

教育委員会委員

委員 小 倉 真里子氏

# 総務教育 常任委員会 報告

## ①議案第10号 えびの市水道事業 経営戦略の策定について

所有する資産の老朽化に伴う改良更新費の増大や、人口減少に伴う料金収入の減少等により、経営環境は厳しさを増しており、不断の経営健全化の取組を求められています。このような中、公営企業は住民の日常生活に欠くことのできない重要なサービスを提供する役割を果たしており、将来に渡ってもサービスの提供を安定的に継続することが可能となるよう、中長期的な経営の基本計画である経営戦略の策定要請が総務省よりありました。これにより、本市水道事業においても「えびの市水道事業経営戦略案」を策定しました。

本市水道事業についても、この期間内に経営戦略を策定したものです。（国は平成32年度までに経営戦略の策定率を100%と掲げ、平成28年度から平成30年度まで策定経費の2分の1を交付税による

3月定例会において、当委員会に付託されました議案9件について審査を行いました。審査の結果、全ての議案は原案のとおり可決すべきものと決しました。以下、主な議案の審査内容を抜粋して報告します。

### 財政措置

**Q** 当初、旧真幸地区で昭和32年から簡易水道事業として始まった事業であり、第2次、第3次事業を拡張しながら現在に至っているということであるが、本市の水道事業竣工は、古いものは60年、新しいものでも約40年が経過をしている状況である。現在の給水管布設替えの現状はどうか。

**A** これまでの布設替えの方法としては、主に石綿管の更新事業や、国・県道の改良工事、市道の改良工事等に伴い、併せて更新を進めている。必要性は当然感じているが、計画的には布設替えに取り組んでいない。

**Q** 料金改定ありきの経営戦略ではないものか。

**A** あくまでも料金改定ありきではなく、経営努力にも努めていく。

**Q** 給水普及率の向上について、給水収益増加の取り組みと

※① して要綱5条の1項（公費負担部分）の早急な改正をすべきと考えるが。

**A** 現状では水道課負担部分（30mとなっており、距離によって市民の負担が大きくなる）との認識はある。今後を見据えて、負担軽減につながるよう要綱改正に向けた取り組みをスタートしている。早ければ6月定例会に間に合うようにと考えている。

②議案第11号 えびの市におけるあらゆる差別をなくし人権を守る条例の制定について

国の法律制定に伴い、市民の人權意識を高め、あらゆる差別をなくし平和で明るく住み良い地域社会を実現するため条例を定めるものです。

**Q** 部落差別の文言が明記されていることに関して、市としての認識について。併せて、条例化することにより逆効果となり得る心配はないものか。

**A** 平成28年12月に制定された「部落差別の解消の推進に関する法律」の中でも、未だ部落差別が存在しているとうたわれており、また、人権に関する市民意識調査等においても部落差別に関する意識の低下も見られる。一番

懸念されるのは、部落差別に関しての誤った認識を持つてしまうことによる差別が起こることである。えびの市としての目標は、今回制定した「えびの市におけるあらゆる差別をなくし人権を守る条例」を、いつか条例廃止出来るようなえびの市にしていけることである。その意気込みを込めて、今回この条例を制定し、今後更に啓発運動等の強化に努める。

③議案第43号 平成30年度えびの市病院事業会計予算について

**Q** 病院施設改良費500万円の詳細は。

**A** 市立病院正面の自動ドアの右側にある花壇を整地し、また同じ場所に市立病院建設当時から建っている木製の夜間救急外来の案内看板を取り外し、その場所に大型カーポートを設置する予定である。広さ的には車約2台分で、真ん中に1台車を停めても雨に濡れることなく両サイドでも後方でも乗車でき、また福祉タクシーなどの利用でも、車椅子のまま濡れずに乗り降り出来るように整備する。夜間救急外来の案内看板も更新する。

総務教育常任委員会

委員長 遠目塚 文美

※① 第5条 配水管布設に伴う布設方法については、それぞれ次に定めるところによる。ただし、市長がその必要がないと認めたときは、この限りでない。

(1) 既設配水管の分岐点から30メートル(申込戸数が複数の場合は30メートルに当該申込戸数を乗じて得た距離また新規申込と配水管との間に既設加入家屋(給水管)があった場合はその家屋を加えた戸数を乗じて得た距離)までの配水管については、市が予算の範囲内で布設するものとする。ただし、第3号の規定により算定された距離を加算することができる。

# 産業厚生 常任委員会 報告

当委員会では3月1日・2日・5日の3日間の日程で議案19件、陳情1件の議案審査を行いました。(今定期例会において付託案件が多く一部の議案報告となります。)

## ①議案第8号 えびの市障がい者計画の策定について

障害者基本法11条第3項に基づく市町村障がい者計画として、本市の障がいのある人のための施策に関する基本的な事項を定めるもので、計画期間は平成30年度から平成34年度までです。「障がい」の表記について、「がい」という字は現在の漢字表記が否定的なイメージが多いため、組織、関係団体、関係施設などの名称で「害」の漢字が使われている場合を除き、今後は「害」の字をひらがなで表記するとの説明がありました。

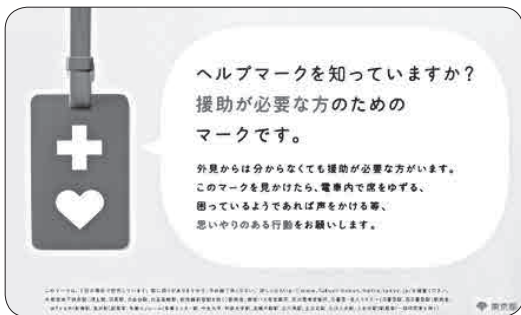
**A** 県で今、ヘルプマーク・ヘルプカードを進めているのか。

**Q** 障がいのある人に関するマーク等の周知とあるが

る。今年度中には各市町村に対して配布が進んでいくと考えている。

**Q** 必要とされる方が身に付けているときに他の方にも理解してもらえないのか何のマークか周知が必要と考えるが。

**A** マークの種類について、現在は1種類で赤地に白色のハートマークで示されている。



障がい者のみならず、見ただけではわからないがサポートを必要とされている方に身に付けていただくヘルプカード

## ②議案第13号 えびの市産業団地整備事業特別会計条例の制定

産業団地整備事業の円滑な運営と経理の適正化を図るため地方自治法第209条第2項の規定により制定するものです。設置理由・歳入歳出について、弾力条項についての3条項であるとの説明がありました。

**Q** この条例の第3条に記載されている弾力条項について、この内容は。

**A** 弾力条項の定義は、「特別会計が設けられ、予算をこえて増えた歳入を、予算をこえて必要となった歳出の財源に充当することができる」とした規定を盛り込んだ条項のことをいう。

## ③議案第14号 えびの市京町温泉駅観光交流センター条例の制定

京町温泉駅周辺整備に伴い、京町温泉駅東側に建設を進めている施設で、目的は地域のにぎわいの創出と観光の推進、交流人口の拡大を目的とした駅舎機能を兼ねた観光交流施設です。現在建設中で、将来は観光商工課が所管し観光の

案内を含めた施設の運営を行っていきます。使用料は他の施設と同様の積算により1時間当りの使用料を定めています。

**Q** 研修施設の使用料について。

**A** 屋外・屋内交流スペースについては平米あたり1時間50円で積算している。

**Q** 完成日はいつか。

**A** 完成日は4月いっぱいを見込んでいます。全体的な仕上がりは平成30年度中ではないかと考えています。

## ④議案第41号 えびの市産業団地整備事業特別会計予算

歳入、歳出それぞれ9,850万円です。歳出は、産業団地整備事業総務費55万7千円、造成費9,794万3千円。主な内訳は、実施設計委託料、建物等調査委託料・地権者等権利調査委託料であるとの説明でした。

**Q** 当初の基本計画に示される万円の差異が生じているが理由は

なにか。

**A** 基本計画の段階での測量、調査・設計料は8,330万円程度であった。詳細設計、実施設計を積み上げてきた。建物等の調査委託料等が膨らんだことや業者等から参考に見積もりを取り積み上げたものと、市として積み上げた金額に差が出たところである。

**Q** 発注方式はどうするのか。

**A** 契約は指名競争入札で行う。

**Q** 9,700万円、3つの実設計委託料が示されたが、これについては上限という解釈でいいのか。

**A** 複数の業者の見積もりを取っており、それぞれの業者に対して1番高い金額で積算している。

**Q** 本会議で市長が述べられたように、会社がえびの市に進出したいと強い意思の表れで予算計上されたと思うが、造成面積・販売面積・販売単価・建造物面積・建造物構造・駐車場・車

の収容台数・従業員の採用予定はどうなっているのか。

**A** A社については、敷地面積約8.4ha、建物面積3.4ha、駐車場2千台、雇人数300人。B社については、敷地面積約1ha、建物面積0.3ha、雇人数50人である。仮にA社で示すと、敷地面積に対して1万2千円で売却したと仮定すると、売買価格が10億440万円となる。B社については、1億1,800万円となる。企業への土地売買価格は、1万2千円から1万4千円の間で未定である。

**⑤ 陳情第1号 湯田・西郷地区における産業団地整備の早期実施について**

陳情者代表者2名を参考人として陳情書の内容の趣旨説明を求めました。

**Q** 「産業団地を一日も早く造成し、早期の企業立地を実現して頂きたい、私達も出来るかぎりの支援、協力をしていきたいと考える次第である」とあるが、現状は。

**A** 西郷地区での確実な方が41名いらっしゃり、自分で回り状況を説明している。工業団地が出来て雇用が生れるのなら全面的に協力すると協力体制が出来ている。地区全体の話し合いがあったが反対意見は1回も聞いてない。

**Q** 買取単価について執行部の説明を求めます。

**A** 土地鑑定を基に判定をし、2つのパターンで説明した。地権者の同意を得る際には、平米あたり3千円ということで同意をいただいた。

議案審査の結果、討論もなく議案第8号・第9号・第12号・第14号・第16号・第17号・第20号・第23号・第24号・第32号・第33号・第34号の12件については、いずれも原案のとおり可決すべきものと決しました。

議案第13号・第18号・第19号・第38号・第39号・第40号・第41号については、賛成・反対の討論があり挙手による採決を行いました。議案第18号・第19号・第38号・第

39号・第40号は採択の結果、賛成多数であり、可決すべきものと決しました。

議案第13号については、賛成・反対の討論があり、採択の結果、賛成少数のため否決されました。議案第41号については賛成・反対の討論があり、採決の結果、可否同数であり、委員会条例第17条第1項の規定により委員長において可否の裁決を行い、可決すべきものと決しました。

産業厚生常任委員会

委員長 西原 義文

# 予算審査特別委員会報告

## 平成29年度一般会計予算の補正(第11号)について

3月定例会において、当特別委員会に付託された議案は、議案第31号 平成29年度えびの市一般会計予算の補正(第11号)について1件であります。

審査の結果、討論もなく全会一致で原案のとおり可決すべきものと決しました。以下、補正予算の概要と主な審査内容を報告します。

### ▼補正予算の概要

#### (1)補正額

減額2億6,187万円  
(各種事業の年度末の確定による減額等)

#### (2)補正後の29年度予算総額

142億4,461万6千円

#### (3)主な補正予算の内容

##### 教育費

##### ①小学校施設管理維持補修費

1,873万4千円

岡元小学校に空調設備を設置するもの。

##### ②中学校施設維持補修費

1億62万9千円

飯野・加久藤・真幸の3中学校に冷暖房機を設置する予算。いずれも、文部科学省の学校施設改善交付金事業で、平成30年度までに繰越事業として実施する。

### ▼主な審査内容

#### 教育・保育施設管理運営事業費

**Q** 保育所運営委託料2,685万7千円の減額理由は。

**A** 保育所への入所児童数が、当初見込みより少なかったこと。委託料の主任保育士専任加算等の各種加算が付かなかったためである。

**Q** 施設型給付費2,208万3千円の減額の理由は。

**A** 認定こども園と幼稚園の入所児童数が、当初見込みより少なかったため。また、認定こども園のチーム保育加算・幼稚園の処遇改善加算等の各種加算が付かなかったためである。

#### ひとり親家庭支援事業費

**Q** 児童扶養手当2,300万円の減額理由は。

**A** 支給対象者が当初見込みより少なかったため。また、国の児童扶養手当支給単価基準の引き下げにより、支給額が減額となったためである。

#### 地域農業活性化事業費

**Q** 地域農業活性化事業費1,150万9千円の減額理由は。

由は。

**A** 地域おこし協力隊員の報酬金の減額である。平成28年度からの協力隊員3名の経費であったが、2名は隊員が希望する農業と研修内容に隔たりがあり、平成28年度末で研修を中止。1名は平成29年5月1日の任期満了で研修を終了したためである。

#### 未登記処理事業費

**Q** 市道の未登記処理事業の進捗について。

**A** 地籍調査の終わっていない地域の市道については、平成30年度に全路線の調査を行い、一筆一筆の非課税措置を行う予定である。

## 平成30年度一般会計予算について

3月定例会において、当特別委員会に付託された議案は、議案第37号 平成30年度えびの市一般会計予算についての1件であります。

審査の結果、討論があり、会議規則第128条第1項の規定によ

り、挙手により採決を行いました。採決の結果は、賛成多数により原案のとおり可決すべきものと決しました。以下、予算の概要と主な審査内容を報告します。



▼予算の概要

(1) 予算規模

137億3,700万円

(2) 主な事業

① 防災食育センター建設事業

8億755万円

② 都市計画画道路事業

4億8,330万円

(3) 新規事業

① 国営土地改良事業負担金

8,624万円

② 地方版ハローワーク事業

242万円

③ 吉都線観光列車ツアー事業

133万円等

▼主な審査内容

市有林管理費 555万5千円

市有林の面積はいくらか。

Q 総面積972ha(直営林、分収林、部分林を含む)

A のうち、杉林157ha、檜林367ha、広葉樹林等448haである。

Q 杉林と檜林の伐期はいつか。

A 杉林、檜林とも80年林齢を伐期としている。

Q 今回特Aを取得できなかった。ヒノヒカリに代わる新しい品種は協議されているのか。

A ヒノヒカリはブランド力があるため、それに代わる品種は厳しいものがある。しかし、有望な品種の可能性もあるため、検討の必要がある。

Q にこまるは、農家が増反に努めている。えびの市の奨励品種として取り組んでほしい。

A 水稲生産は、気候変動に対応した良質、良食味の生産に取り組む必要がある。JAや稲作振興会等と協議検討を重ねていく。

Q 土地改良事業支援対策費

市土地改良区合同事務所補助金 442万円

Q 市内には、17土地改良区が合併したえびの市土地改良区と、合併に参加しなかった上方土地改良区の、二つの土地改良区がある。補助金の使途について伺う。

A 二つの土地改良区で合同事務所を設立して、事務を行う予定の補助金である。今後、全土地改良区の合併を目標に進めなければと考えている。

Q 農業継承推進事業費 96万円

Q 農業継承推進事業費について、研修事業の対象者は市外からの就農希望者だけか。対象者は、基本的に移住就農者で計画しているが、市内の農業者以外からの就農希望者も対象となると考えている。現在、肉用牛肥育農家と果樹農家数軒が、対象農家として興味を示されている。

Q 体育施設管理事業費 3,785万7千円

Q 体育施設管理業務委託料について、平成29年12月定例会の総務教育常任委員会審査された、体育施設利用時の安全管理についてはどのように改善されたか。

A 体育施設の管理について、指定管理者と次のように協議を行った。

① 体育施設の開館中の常駐管理は厳しい状況であるが、指定管理協定書に「施設の利用があるときは在館に努める」という文言を追加。

② 在館対応については、「クラブマネージャーを中心にクラブの会員」で対応していく。

③ 賠償問題等への対応については、「管理協定書のリスク分担」の取り決めにより行う。

④ 利用者側の責任による事故については、利用者の責任という点とで、申請書に「利用者の過失により怪我や事故、盗難等が発生した場合は、一切責任は負いません」の文言を加える。

以上のような対応で、危機管理対策を講じる。

予算審査特別委員会

委員長 北園 一正

委員 北園 一正

委員 北園 一正

委員 北園 一正

委員 北園 一正

委員 北園 一正

委員 北園 一正

委員 北園 一正

# 議会報告公聴特別委員会 調査報告

議会は今後も検討状況などを確認していく必要がある。

平成29年度議会報告会における市政に対する市民からの要望等

で特に重要事項と判断したものは、市長に対し、議長名で平成29年8月24日付け文書にて通知しました。その後、改選を経て、平成29年12月15日に本特別委員会正副委員長、総務教育・産業厚生常任委員会の正副委員長による協議を開催し、

所管の常任委員会で審議・調査を行うことが決定。執行部に対しては平成30年1月15日に現状調査を行い、その回答を受けて、平成30年1月26日の全員協議会を開催した後、各常任委員会で1月30日・2月1日に現地調査等を行いました。審議・調査結果は次のとおりです。

## 1. 通学路の安全確保について

○ 年1回、関係機関合同で、「通学路危険箇所合同点検」を実施し、随時、各機関でも定期点検を実施している。

○ 保護者や地元から通学路に危

険箇所の情報があつた場合、市などが迅速に対応している。

○ 通学路で道路工事を行っている箇所は、産業厚生常任委員会で道路安全施設の設置など、改修状況を個々に現地調査を実施し、ほぼ順調に進捗している。

## 2. 買い物難民対策について

○ 高齢化で移動手段に困難が生じ、自主的な買い物が出来ない方への対策、移動販売事業者への補助金等の交付、移動販売事業者と連携した高齢者見守り対策など、これまで定例会の一般質問の中で、多数の議員が行政に対し見解を確認している。

○ 行政側は、対象者の把握、どの地域でその対策を必要としているのか、どの方法でその対策を行うのが一番良いのかを把握する必要があり、実態把握のための市民アンケートを実施する。その結果を踏まえ、執行部で検討がなされるものと思うので、

## 3. 産婦人科など医療の確保対策について

○ 医師確保については、定例会の一般質問や総務教育常任委員会で、これまで審査を実施している。

○ 市立病院の医師確保は、行政側で大学等へ直接出向いて、要請を実施しているが、現状では非常に厳しいとの説明である。

○ 市内の産婦人科で分娩に対する診療中止に伴い、西諸2市1町の首長・議長で、県及び宮崎大学へ要望活動を行っている。多数の議員も一般質問で取り上げた。執行部の答弁は、平成30年7月から小林立病院で分娩が行える環境が整い、現在順調に進行中である。

○ 市内で分娩できる医療機関を再開して欲しいとの市民の声があるため、執行部は今後引き続きその検討を継続する。

## 4. 工業団地整備について

○ 平成29年10月25日の全員協議会で、えびの市産業団地基本整備計画を示し本計画の根拠のほか諸課題に対する考え方を含めた説明がなされた。市長から地元に対し産業団地整備計画や団地整備に向けた予算の概略の説明を行い、複数の企業と進出に向けて具体的な協議を行っている。企業の確実な立地につながるように計画的に団地整備を進めていく、との答弁。重大な施策であることから、今後も議会等で慎重な審議や審査を実施していく。

議会報告公聴特別委員会

委員長 栗下 政雄

**議会報告公聴特別委員会  
議会報告会調査報告を受けて**

平成29年度実施した「議会報告会」にて市民の皆さんからお寄せいただいた意見に関して、議会報告公聴特別委員会からの中間報告として調査報告を記載しております。その後、改善や進捗がみられた事案や、3月定例会で提案された平成30年度新年度予算に計上され可決した事業等ありますので報告します。

**① 通学路の安全確保について**

※上江小中学校の通学路について  
総務教育常任委員会にて執行部立会いのもと、現状説明や現地調査を行いました。

具体的な事例として、上江小中学校工事のため封鎖されていた校門については、現在は以前同様に開門され、通学路として使用できているとの説明でした。ただし、農作業道を通ることになるので、農繁期等につきましては、周辺農地で作業される方は、児童・生徒の安全確保に十分お気を付けいただきますようお願いいたします。

**② 買い物難民対策について**

※調査報告にあるように、現在行政側が実態調査等を行っていません。

**③ 産婦人科など医療の確保対策について**

※小林市立病院での分娩再開について

平成30年度新年度予算に「産婦人科運営費負担金 757万5千円」が計上されました。これは、小林市立病院の産婦人科開設に伴い、西諸2市1町で運営に要する経費を負担するもので、平成30年7月から平成31年3月分のもので、執行部からの説明では、今年度7月から予定通り、小林市立病院での産婦人科が再開されることと、それに伴う医師確保（麻酔科医も含め）も出来ているそうです。年間200人の利用者で採算が取れると見込んでおり、平成31年度までは赤字経営を覚悟しての運営になるそうです。2次医療圏内に婦人科のない不安な状況からは大きく前進しました。今後とも医師確保・医療の充実に議会としてもしっかり努めていきます。

**④ 工業団地整備について**

※えびの市産業団地整備実施に向けては、3月定例会にて特別会計等が提案されました。審議内容等については、各委員会報告並びに賛否討論概要等ご参照下さい。

# 市議会と市政を語るかい！

～平成30年度 議会報告会のお知らせ～

\*\*\* 開催日 \*\*\*

平成30年 7月23日(月)・7月27日(金)

市内4中学校区で開催

※開催場所・時間・内容等の詳細については改めてお知らせします。



「障がい者の地域支援」について



小東 和文  
議員

**質問** 知的障がい者向けのグループホーム設置に向けて、えびの福祉作業所が長期間空き家を探していたところ、環境的にも恵まれた素晴らしい物件を購入した。現在、用途変更・耐震調査等を依頼中であり、今後耐震補強・改築工事等が必要になってくるが、特段の配慮をお願いする。

**市長** 県の補助事業は受けられないということ、市独自の補助事業を作って6月補正等で、しっかりサポートしていきたい。

**質問** 4月からオープンする高速バス利用者の駐車場は、税金の公平性から考えると、今までは無料だったが有料にすべきだ。

**市長** 事故トラブル等の懸念を払拭するために無料と考えた。



**質問** 国際化の流れの中で幼児期から英語に慣れ親しむべき時、また小学校から英語が必須教科になる。インバウンド（訪日外国人客）誘致も今がチャンスで広域的連携を図りながら交流人口・宿泊増に繋ぎ、外貨を稼げるように国際交流員を配置し活用すべきだ。

**市長** インバウンドによる外国人の受け入れは重要である。ALT（英語指導助手）1名増員する。

将来を見越した前向きな施策を



遠目塚 文美  
議員

**質問** 八幡ヶ丘公園の桜に掛かっている支障木の伐採について、どのような管理をしているのか。

**観光商工課長** 所有者が既に亡くなられている箇所も多く、所有者がわかり次第、了解を得て伐採し、今後も全体的に点検等を行う。

**質問** 採卵鶏舎内への害獣侵入柵設置に係る資材支援等に関して、市民提案書が提出されたが、その後の対応は。

**畜産農政課長** 県へ打診したところ、国の「強い防疫作り対策事業」で対応出来るとの解答を得たので、既に資材等入れた。平成30年度は要望調査を実施する。

**質問** 県が制定している「ひなたGAP」認証制度の進捗状況は。

**畜産農政課長** グローバルGAP



市民の憩いの場となるよう適時管理が必要

Pにチャレンジする前のファーストステップとして位置付けられている。県としては、昨年9月に事務局を設け、指導者育成を実施し、併せて県内30ヶ所をモデル農家として設置。今後、西諸管内に13名の指導員を配置し、研修等を行い普及に努めるとのことである。

**質問** 道の駅えびのの市内出荷者の手数料を引き下げられないか。

**市長** 指定管理者へ伝えてみる。

# 一 般 質 問

## 永山運動公園拡張整備



栗下 政雄  
議員

**質問** えびの高原キャンプ村整備計画は、環境省の補助事業で進められている。この施設を、身体障がい者の方も利用できる施設にして欲しいとの声があるが。

**市長** 現在、ケビン改修については進めているが、そのうちの一部は身体障がい者の方も利用しやすいようなバリアフリーの形をとることを含めて検討している。

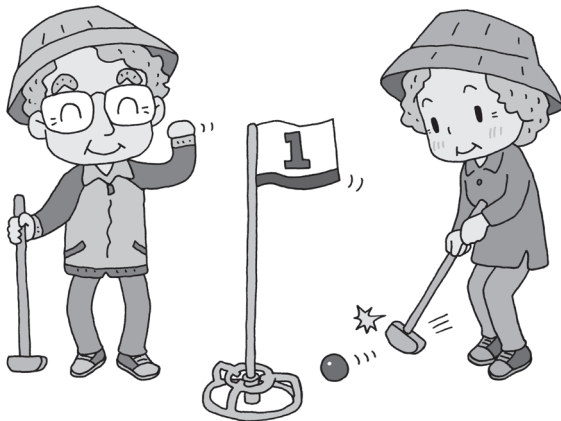
**質問** 永山運動公園、駐車場整備、グラウンドゴルフ場整備計画を伺う。

**教育長** 今後の整備計画は、拡張部分を3・1ha、既存部分が3・9ha、合わせて7haの計画としている。計画年度については平成30年度に拡張部分の概算要求を、平成31年度に既存部分の改修の概

算要求を行う予定である。

**質問** 先の一般質問で取り上げた霧島・堀浦地区の無線放送難聴場所の進捗状況を伺う。

**基地・防災対策課長** 平成30年度当初において個別受信機の新規購入予算を上げている。



## 農産物のPRを



蔵園 晴美  
議員

**質問** 道の駅えびので農産物のPR効果はあるが、行政・JAにおいてどのような形でPRしているか、また効果はどうか。

**市長** 物産展などでPRはしているが、情報発信は遅れている。

**質問** ホームページ等でPRの検討をされる考えはないか。

**畜産農政課長** 外販部門は不可欠である。ネット販売も検討している中で、道の駅えびののホームページでのPRも構築されていくと考える。

**質問** 永山運動公園整備計画で、駐車場、グラウンド及び大型バス侵入道路拡張等がある。現在のトイレ1ヶ所だけでは十分ではない。防衛省と概算要求を協議する中で、桜堤の堤防にトイレ設置はできな

いか。

**社会教育課長** 現在の桜堤のところに設置する予定にしている。

**質問** 昭和のまちづくりを提唱している。温泉施設の改修など、特徴のある街づくりのため補助金制度の策定についての考えは。

**市長** 平成30年度は地域組織を立ち上げ、平成31年度には全体を含めたまちづくりの予算化をした。



先を見据えた取り組みを



小宮 寧子  
議員

**質問** これからの超高齢化社会において、在宅医療と介護の連携を図るうえで、えびの市立病院に地域包括ケア病床（在宅復帰に向けた回復期病床）の導入が急がれるが進捗状況は。

**病院事務長** 現在3階にある急性期病床の一部を地域包括ケア病床へと転換を図る。平成30年度より、社会福祉士を配置し厚生労働省の許可が下れば、平成31年4月より8床を稼動する予定である。

**質問** 子育て支援の拡充とマイナンバーカードの普及を目指し、スマートフォンアプリを利用した電子母子手帳のサービスを導入する考えはないか。

**市長** スマートフォンの活用はマイナンバーカードの普及に大き



将来を見据えた病院改革・地域包括が望まれる

な効果があり、新たな子育て支援の一部にもなると思う。今後財源も考慮し検討していきたい。

**質問** いつ発生するかわからない災害に備え、女性ならではのきめ細かな視点を生かした防災ブックを作成する考えはないか。

**基地・防災対策課長** 非常に重要な事だと認識している。他自治体などの取り組みも参考にしながら、今後検討していく。

介護保険料の負担軽減を



金田 輝子  
議員

**質問** 特定健診は、受診率が低ければ助成金も減額されると以前聞いた事がある。現在はどうか。

**健康保険課長** 特定健診の受診率向上が、交付金の増額につながる制度が新たに設けられた。えびの市が受診率や保健指導を行なうことで加点され、交付金が上乘せされる。財源確保のために、未受診者対策を継続的に実施が必要である。

**質問** 市民の受診率を上げるためには、市民の意識改革をどのように進めるか。

**健康保険課長** 特定健診等で確認し異常があれば軽いうちに対策を施し、重症になる前に治療を受ける事で結果的に医療費を抑える。



体を適度に動かし、健康寿命を延ばす

**質問** 介護保険料が県内で一番高いと聞けるが、本市が取り組んでいる事や今後の改善策は何か。

**介護保険課長** はつらつ運動教室や、介護予防に効果のあるはつらつ百歳体操を推進している。

**市長** 地域の皆さんが保険を使わずとも健康寿命を伸ばせるよう、地域全体として高齢化社会を支える環境を作っていく。

## えびの産業団地計画の検証と今後の課題



中山 義彦  
議員

**質問** 昨年、開発規模が約16haと小さくなった時点で、小田地区等の候補地13ヶ所での適地再検討はなされたのか。

**企業誘致対策監** 再検討はしていない。

**質問** 軟弱地盤対策を含め、現地に合った施工計画を作成して、詳細設計の前に示す約束だった。また、市長答弁で、市の負担は5億円程度、工程1年間とある。検討結果を議会・市長に説明した後、詳細設計関連議案を上げすべきである。

**建設課長** 工事費は、農林・土木単価により再度積算した。数量等は誤差はない。

**質問** 仮に9・4ha分譲できて、残り2・3haが売れなければ



工業（産業）団地基本計画の更なる精査を求める

約2・8億円の未収がでる。土地の売れ残り、工事費の増大で、最悪10億円程度の市負担になる。また、商業施設が進出すると市内の企業・商店と競合する。この問題について、進出企業と対応策は協議しているのか。

**市長** 具体的には進出企業側に求めることはできない。新たな雇用の場ができるので、影響の緩和は行っていく。

## 西郷と島内の道路整備を



西原 政文  
議員

**質問** 西郷と島内をつなぐ西郷耕地7号線が行き止まりでこの延長が望まれる対策を求む。

**建設課長** 産業団地造成計画に伴い交通量の増加も考えられる。また、島内古墳の関連性もあるので関係課と協議する。

**質問** 産業団地問題は労働力も少なく既存の事業所も労働者を集めるのに苦労している。仮に大型商業施設ができれば頑張ってきた事業所や商店なども経営が続けられなくなるが考えは。

**市長** 労働力不足は問題だが、それは来る事業所が考えることであり、過去京町の寿屋でもなぜ作ったかという意見はない。

**質問** 加久藤小学校で行われた避難訓練は、子供たちに恐怖心を

あおるだけだと考える。今後はやめるべきだ。

**市長** 北朝鮮のミサイルが打ち上げられ他の自治体でも行っており、えびの市でも実施した。

**質問** 霧島演習場での入会権をご存知か又守られているか。

**市長** 使用協定書では水路の管理や採草など認められている。使用頻度が高く立入れる日数が少なくなっている。



延長が望まれる西郷耕地7号線

スマート農業の推進で  
ドローンの導入を



田口 正英  
議員

**質問** 施政方針の中で人口減少問題にふれられ、将来にわたって持続可能な地域社会を維持するため、基本目標を定めた創生総合戦略の中で進めていくとある。昨年と同様に歯止めがかかっているが、この人口減少に歯止めがかかったと思うか。

**市長** 人口減少対策だけではなく、創生総合戦略を進めてきている中で移住者も毎年増加し交流人口も増えてきているが、人口減少に歯止めがかかったという所まではいたっていないとの認識である。

**質問** スマート農業についてどのような認識があるか。

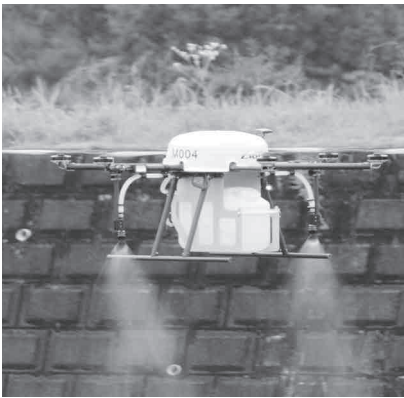
**市長** 農業従事者の高齢化や労働力不足等、本市の基幹産業である

る農業を維持発展させていく上ではロボット技術やICT<sup>※①</sup>を活用し、収量増大や高品質化等農畜産物のブランド化を目指すうえで、いち早くスマート農業に取り組む必要がある。

**質問** えびの産米の品質の低下が続いている。適期な防除が必要である。ドローンの導入を稲作振興会と協議し、進める考えはないか。

**畜産農政課長** 稲作振興会の中で計画があれば紹介する。

※①情報通信技術の総称(インターネットなど)



スマート農業の推進  
(農業用ドローン)

企業誘致と産業団地の施策を問う



松窪 ミツエ  
議員

**質問** 工業団地造成費に多額の市債が投入されるが、財政の見通しはしっかりされているか。

**市長** 現在立地が有望な企業で想定される税収だけを見ても市が負担した金額は立地してから10年で元を取れる。10年を目途に6億円程度の税収が見込める計画になっている。

**質問** 企業誘致と工業団地造成計画について、市民サイドの情報提供がされていないと聞くが何故か。

**市長** 産業団地は中味が特別、広報し辛い部分があった。議会で承認を得られたら、議会で示したことを含め市民への理解を求める。

**質問** 誘致企業は既存企業や市場産業との競合、また地域との融合を図れるか。

**市長** 地元の新たな雇用、他の産業との連動、地域貢献、えびの市の活性化に向けた企業の取組みを期待していると話は伝えてある。

**質問** 長期に渡るこの大事業は、首長が変わったとしても継続性を保てる事業計画であるか。

**市長** 特に産業団地については大きな予算を使うので、市としての考えが毎年々々、継承されるようにしていきたいと思っている。



工業団地候補地となっている湯田西郷地区



# 一 般 質 問

## 産業団地整備計画



吉留 優二  
議員

**質問** 産業団地の実施に当たり、企業の立地による税収効果も含め本市に及ぼす効果を尋ねる。

**市長** 雇用・税収の確保は当然、新たな企業の進出によって地元企業への受注・発注機会の拡大や農産物をはじめとする地域産品・地域資源の活用・交流人口の増加等が期待される。

**企業誘致対策監** 指定企業の平均的な税収で試算すると、年間約5,960万円程度の固定資産税が見込まれ、操業後4年目から10年目の間で約4億1,720万円の税収が見込まれる計算になる。法人市民税と住民税を合わせて年間約2,170万円程度の税収となり、10年間で2億1,700万円の税収となる。立地後10年間で



佐賀県鳥栖工業団地の概要説明（視察にて）

の税収効果は6億3,420万円となる。（一工区全てに企業がに入った場合の試算に基づくもの）

**質問** 市長は、この産業団地整備計画をどのような思い・覚悟で取り組もうとしているのか伺う。

**市長** このチャンスを逃すことは決してあってはならないこと、このチャンスを生かすことが、市民から付託を受けた私の使命であると認識している。政治生命をかけて申し上げている。

## 本市の活性化政策の一端について



竹中 雪宏  
議員

**質問** 移住・定住支援策の中で、お試し滞在制度、賃貸住宅の家賃助成、転居費用等の導入、移住奨励金の構築、起業・創業支援等につき、他自治体に負けない支援策に改善し、喫緊の課題である人口減少を克服する考えはないか。

**市長** ニーズ調査を行い、特徴のある政策を練って、有効な政策になるよう方向性を示していく。

**質問** 水道事業は、大変厳しい経営が予想される。経営努力をしながら要綱の見直しを行い、給水普及率100%を目指す考えは。

**市長** 要綱の見直しを指示し、経営努力をしっかりとっていく。

**水道課長** 市長の指示を受けて早速取りかかり、よりよい制度にするとともに経営努力に努める。

**質問** 白鳥温泉下湯施設の改修・修繕の取り組み方を示せ。

**観光商工課長** 交付金事業や各種事業の活用を検討している。

**質問** 真幸駅の連携と温泉水を活用したトラフグ養殖で、京町温泉の活性化を図る考えはないか。

**市長** 京町温泉観光交流センターを拠点に成果を出していく。また、フグ養殖も新たな観光資源であり、実現に向け調査をする。



市役所内に開設されている移住・定住希望者への相談窓口

# ◎ 委員会視察報告 ◎

## 総務教育 常任委員会 管内調査報告

平成30年  
2月1日に  
「学校施設  
及び通学路  
について」  
を調査内容  
として、上江小中学校及び加  
久藤中学校の視察を行いました。

【冷暖房の設置及び使用状況・上江小中学校】冷暖房の管理は、原則児童・生徒には操作させず、教室の気温が10℃を下回っているとき、冷房の時は30℃を超えている時点で両教頭先生が空調の運転を検討する。【冷暖房の今後の設置計画・年次計画、設置順序等作成】上江小中学校を除く全学校（小学校4校、中学校3校、計7校）分の補助金交付要望を文部科学省に提出済み。今後、補助金交付の見通しが立ち次第、速やかに予算化していく予定である。

【冷暖房設備未設置の学校施設の現状】空調設備未設置校では、現在職員室、校長室、保健室、事務室、一部の会議



冷暖房設備の整っている学校の現状視察（上江小中学校）



議会報告会にて要望の出された通学路視察（整備された用水路）

総務教育常任委員会  
委員 吉留 優二

室及びコンピュータ室に設置済みであり、児童生徒が長時間過ごす普通教室や理科室などの特別教室が未整備となっている。【通学路の状況】学校教育課職員が、定期的に児童生徒の登校の様子を見て回る取り組みを実施している。平成29年8月10日に、道路管理者、警察、学校、市及び教育委員会が合同で、通学路危険箇所合同点検を実施（合同点検は毎年実施）し、関係機関で対応策を協議している。

## 産業厚生 常任委員会 研修報告

平成30年  
2月1日・  
2日「高齢  
者見守り体  
制」につい  
て、先進地

である山口県周南市と光市にて視察研修を行いました。周南市では多くの市民の方が、高齢者の見守りに協力的であり、地域に見守りの輪を広げること、高齢者が住み慣れた地域で安心して生活することができる環境づくりが進んでいます。特に、高齢者や子供、障がい者、生活困窮者など全ての人が安心して暮らせる総合的な福祉相談窓口を設置している「もやいネット」の取り組みが素晴らしく、総合相談支援体制により、その人らしい尊厳のある生活が継続できるよう、1人1人のニーズに合った支援が提供されています。また、夜間・休日、緊急時の対応も充実しており、相談窓口を一本化したことにより、相談者と関係機



山口県光市でのまちづくり事業の視察

産業厚生常任委員会  
委員 金田 輝子

関をつなぎ、問題解決を目指しています。現市長の思いで作られた「もやいネットセンター」や、地域包括支援センターでは、墓の相談までも対応しているそうです。これからの超高齢化社会において、このような体制づくりを、えびの市でも検討していくことが必要であると考えます。

# 議員研修会報告

## 議会広報 特別委員会 管外調査報告

平成30年  
2月13日・  
14日の二日  
間で、小林  
市議会、日  
向市議会の  
議会広報誌作りについて視察  
研修を行いました。

小林市議会の議会広報誌は「手に取って読みたいくなる議会だより」をコンセプトに、市民からの一般公募により付けられた『はなみずき』という議会だよりで、フルカラーでイラストやアイコンなどを取り入れた、大変読みやすい広報誌となっています。全議員が編集に携われるよう、内容の詳細を細かに記した作成マニュアルを作り、事務局とも連携を図りながら編集を行っています。また、読者モニター制度を設け、意見交換会なども実施しながら、幅広い世代の市民の方の意見を取り入れていきます。

また、日向市議会の議会広報誌は、小林市と同様に市民

公募により付けられた『陽だまり』という議会だよりで、デザインを重視し、専門用語はなるべく使わず、やさしい言葉と短い文章で、市民の方にわかりやすく議員活動を伝えるということに努力されています。今回の視察研修で学んだことを参考に、えびの市議会だよりも、より多くの市民の皆様が手にとり、読んでいただけるような広報誌づくりを目指していきます。

### 議会広報特別委員会

委員 小宮 寧子



日向市議会



小林市議会

## 議会報告公聴 特別委員会 委員長報告

当特別委員会は、えびの市議会基本条例「第5条、市民と議会

なお、議会報告会開催にあたり、運営状況を参考にするため、他地方議会の議会報告会を特別委員会2班に分かれて視察することにしました。

との関係」及び「第7条、議会報告会」に掲げてあるように、市民に対し、積極的にその有する情報を発信し、議員と市民が自由に情報及び意見を交換する議会報告会を開催するとともに、公聴会制度の活用を図り、市民の意見を政策形成に反映させるために平成29年10月3日に設置されました。

公聴会制度については、普通地方公共団体の議会が一定の事項について判断し、または決定する場合に、広く利害関係者又は学識経験者等の意見を聴き、その参考にするために設けられた制度であり、地方自治法第115条の2第1項の規定に基づき、地方議会では、予算その他重要な議案、請願等の審査に当たって必要がある場合に開くことができる本会議及び委員会の特殊な審議・審査形態です。

平成29年度の議会報告会については、改選前の平成29年7月27日・7月31日の2日間、市内4地区で開催し、市民から市行政への要望を受け、議会から執行部へ報告し、改選後に執行部から議会への報告を受け、各常任委員会での状況について調査を行いました。

平成30年度の議会報告会については、平成30年7月23日、7月27日の2日間、市内4中学校区で開催することに決定しました。

### 議会報告公聴特別委員会

委員長 栗下 政雄

# 議員研修会報告

## 議員研修会

平成30年1月26日、本市議事堂にて議員研修会を開催しました。講師として、(株)地方議会総合研究所代表取締役の廣瀬和彦氏より、「議会活動の基本を学ぶ」という演題での講演でした。

議員の役割と使命については、①議員間討議②審議をつくす③えびの市全体を考える等。責務については、審議等に参加し、自らの信念に基づき討議や表決等を行うこととあり、権利としては、①質疑、討論等の発言権②表決権③動機の提出権④議長選挙等選挙権⑤異議申し立て権等がある。と確認しました。なお、議会の権限としては政策立案、行政監視機能があります。

次に、質問の種類は、①一般質問②緊急質問③関連質問④文書質問等があり、一般質問の機能としては、①当該団体の事務全般を対象として聞ける②定例会で行い、当該団体の事務の疑問点に自己の意見等が述べられます。さらに、質問通告書については、必要性として、①質問者の数・順序の調整②執行機関の答弁の準備が主な要因です。

以上の議員の役割と使命および責務、議会の権限、質問に関する事項についての講演がなされ、全国の市町村議会の事例の説明がありました。

中山 義彦



改選後、新しい議会構成で実施したえびの市議会議員研修会

## 西諸市郡会 議会議長会 議員研修

平成30年2月9日、小林市「KITTO小林」にて、議員研修会が開催された。講師として、全国市議会議長会の本橋謙治氏より、「議会活性化の取り組み」という演題での講演でした。

演題の主な項目は、①議会の活動に対する住民の評価②議会、議員の政策提言③議員の権限行使に於ける留意点でした。住民の評価の主なものとして、選挙の投票率の低下があり、統一地方選挙の投票率が、前回は8年前と比較して約8%下回っています。

政策提言については、市長提出分に比べ、議会からは約1/10の8,500件に留まっています。また、一般質問と質疑に関しては、質問は行政全般について認められる議員の権利であるとの再認識を得ました。さらに、議員間討議については、某市の例が示されたが、討議に定義はなく、それぞれの市のやり方で行なえば良いとのことでした。次に、権限行使の留意点として、市会議員の発言には免責特権がないことが再確認できました。

西原 政文



年1回、西諸2市1町全議員が参加して開催される研修会

## 加久藤小学校 6年生 議場見学

えびの市立加久藤小学校6年生が議場見学にきました。議長席・執行部席・議員席、それぞれに座って、実際の議場の雰囲気を経験してもらいました。

代表者は質問者席に立ち、実際に議員が質問等行うのと同じように事前に考えた質問を発言しました。

みんな緊張した面持ちでしたが、条例に関してや福祉に関してなど、しっかりと質問していました。

質問の後は、生徒達が「えびの市の農業について」をテーマに授業で調査等を行った学習発表があり、子ども達の目線や考え・提案はとても参考になりました。

総務教育常任委員会

委員長 遠目塚 文美



加久藤小学校6年生議場見学

今期定例会・本会議において賛成・反対両討論が行われた議案の中から、抜粋して概要を報告します。



議案第13号 えびの市産業団地整備事業特別会計条例の制定について

議案第41号 平成30年度えびの市産業団地整備事業特別会計予算について

**【賛成】**

- ・えびの市が企業誘致に取り組む最大の政策である。
- ・今後のえびの市を大きく左右する事業である。
- ・造成の工程については落札業者に関わる問題である。
- ・団地造成し区画整備を示すことで、企業に対する明確な説明ができる。
- ・今期定例会内において、進出予定企業が明確に示されたことで企業誘致のメドが立った。
- ・企業誘致による将来の税収等を考えると、市の負担はない。

**【反対】**

- ・これまで産業団地造成事業に特化した市民説明会の場が設けられておらず、説明が不十分である。
- ・今期定例会にて大型商業施設の進出予定が示された。永年、地元で商店（商売）されている方への説明もなければ、支援策等の検討もなされていない。
- ・付託委員会において、条例制定議案は否決・特別会計予算は可決と理解に苦しむ賛否結果となっている。（条例制定がなされなければ、特別会計予算の執行はできない。）
- ・基本計画で示された事業費と特別会計で示された事業費に差異が生じているが、納得できる説明がなされていない。
- ・市で作成した基本計画内容については不十分である。特に工程については11ヶ月では厳しい。そうなると工期延長及び事業費増大の恐れがある。事業費の増大は市民負担が増え、工程延長は企業誘致に影響が出る。
- ・進出予定企業の雇用者数が300名と示されたが、労働力確保は現在既存企業でも課題がある。

**議会日誌**

**【平成29年12月】**

1日 12月定例会【開会】  
13日 議会報告公聴特別委員会

6日 行政視察受入れ  
加久藤小学校議場見学  
総務教育常任委員会  
管内調査

15日 議会広報特別委員会  
12月定例会【閉会】

7日 行政視察受入れ  
（千葉県勝浦市）  
にしもろ産学金官  
交流会

25日 議会広報特別委員会

8日 人権を考える県民の集い  
8日 行政視察受入れ  
（岐阜県美濃加茂市）  
西諸市郡議会議長会  
議員研修

**【平成30年1月】**

4日 新春賀詞交歓会  
5日 成人式式典

7日 えびの市消防団  
出初式

10日 議会広報特別委員会  
12日 新春地域・交通安全のつどい

15日 議会報告公聴特別委員会

26日 えびの市議会議員  
研修会

30日 議会運営委員会  
1月臨時会

21日 「えびの地震」発生50年  
記念講演会

16日 えびの市農業振興大会  
講演会

22日 議会運営委員会  
25日 生涯学習大会

26日 JAえびの市和牛  
繁殖センター落成式

27日 3月定例会【開会】

1日 産業厚生常任委員会  
管外調査（2日まで）

**【平成30年2月】**

27日 3月定例会【開会】

# 議員別表決

## 「表決が割れた」議案等とその議員別表決

議案等賛否一覧表（※賛否がわれたもののみを掲載しています。）

議案番号	議員名 件名	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	採決結果
		上原	小宮	吉留	金田	中山	遠目塚	小東	田口	松窪	北園	竹中	西原(義)	西原(政)	蔵園	栗下	
議案第10号	えびの市水道事業経営戦略の策定について	/	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	●	○	○	原案可決
議案第13号	えびの市産業団地整備事業特別会計条例の制定について	/	○	○	●	●	●	○	●	●	○	○	○	●	○	○	原案可決
議案第18号	えびの市国民健康保険条例の一部改正について	/	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	●	○	○	原案可決
議案第19号	えびの市介護保険条例の一部改正について	/	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	●	○	○	原案可決
議案第37号	平成30年度えびの市一般会計予算について	/	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	●	○	○	原案可決
議案第38号	平成30年度えびの市国民健康保険特別会計予算について	/	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	●	○	○	原案可決
議案第39号	平成30年度えびの市後期高齢者医療特別会計予算について	/	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	●	○	○	原案可決
議案第40号	平成30年度えびの市介護保険特別会計予算について	/	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	●	○	○	原案可決
議案第41号	平成30年度えびの市産業団地整備事業特別会計予算について	/	○	○	●	●	●	○	●	●	○	○	○	●	○	○	原案可決
陳情第1号	湯田・西郷地区における産業団地整備の早期実施について	/	○	○	●	●	●	○	●	●	○	○	○	●	○	○	採択

○：議案等に対して賛成 ●：議案等に対して反対 欠：欠席 -：棄権 /：議長は採決に加わりません

### 議会広報特別委員会

委員 小宮 寧子

長い冬も終わり、吹き去る風の中に暖かな春の息吹が感じられる季節となりました。そんな新しい季節が始まる中、未だ新燃岳の噴火が続いており、収まる気配が見えません。農作物への影響や、これから行楽シーズンを迎える観光地への集客の影響を考えると、一日も早い終息を心から祈るばかりです。

この4月より、道の駅えびのに「アウトドアステーションえびの」がオープンすることになりました。この緑豊かな自然溢れるえびのの拠点に、ここからアウトドアやレジャーなどの楽しみ方、さらにえびのを知ってもらい、より多くの方に足を運んでもらえるような場所として設置されました。日頃からこの自然の中で住み慣れている私たちは、普段えびのの自然の美しさや、素晴らしさに気づかず過ぎていたことが多く、今一度意識して周りの風景を見渡してみると、新しい発見や魅力に気づくかもしれません。

今後、観光地としてえびのの魅力をどうアピールしていくか。これからどうまちづくりを進めていくのか。私たち議員一人一人も真剣に考え議論し、議会と行政、そして市民の皆さんと一体となって、えびの市を盛り上げていきたいと思えます。

### 編集後記

